

大会要項

目的：パラグライダー、ハンググライダーを通じて、全国のフライヤーとの交流をはかる。
ピンクカップは世界一の草大会を目指します。

大会名：ピンクカップ 2018

主催：日本学生フライヤー連盟関東支部

後援：日本ハング・パラグライディング連盟

期間：2018 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）

場所：南陽スカイパーク 山形県南陽市赤湯 2841-1

協力：南陽市、南陽市スカイレジャー振興協議会、
（有）ソアリングシステム、NOB AIR FACTORY
（株）nasa

宿泊場所：升形屋 山形県南陽市赤湯 250-1 Tel：0238-43-2301

競技：デュレーション及びシークレットターンポイント、ターゲット

大会顧問：金井 誠（（有）ソアリングシステム）
大門 浩二（（株）nasa）

大会実行委員長：山縣 宥介（日本大学 2 年）
090-5819-1097 csys17126@g.nihon-u.ac.jp
大会連絡先：pinkcup2018@gmail.com

大会副実行委員長：高澤 朋子（日本大学 2 年）
090-6712-6502 csto17085@g.nihon-u.ac.jp

大会規定

- ・日本学生フライヤー連盟のハラスメント規定が適用される。大会期間中のハラスメントの対応判断は大会実行委員長及びその命を受けたものが行う。ハラスメント行為を行った選手は即時大会失格とする。
- ・緊急パラシュートのリパックを 180 日以内であることが確認できない場合はフライトを認めない。（2018 年 4 月 16 日以降）
- ・エントリーした機体のみの参加を認める。機体の変更は認めない。
- ・大会役員の権限について、大会中は大会役員の指示に従わなければならない。競技に支障を来す行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある。
- ・異議申し立てについて、トラブル発生後 1 時間以内に競技委員長に文書にて申し立てをすること。

開催要項

主催：日本学生フライヤー連盟関東支部

後援：日本ハング・パラグライディング連盟

期間：2018 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）

場所：南陽スカイパーク 山形県南陽市赤湯 2841-1

宿泊場所：升形屋 山形県南陽市赤湯 250-1 Tel：0238-43-2301

競技：デュレーション及びシークレットリターンポイント、ターゲット

大会顧問：金井 誠（（有）ソアリングシステム）

大門 浩二（（株）nasa）

大会実行委員長：山縣 宥介（日本大学 2 年）

競技委員長：太田 昇吾（日本大学 OB）

参加資格 以下を満たすものとする（ただし、2, 3 に関してはいずれかを満たせばよいものとする）。

1. JHF フライヤー会員証を保有するもの（JPA 会員は、JHF フライヤー会員登録を別途取得のこと）。
2. PG において、高々度フライトを 25 本以上経験したもの
（ただし B 級、NP 証、BP 証、PP 証所有者は競技を安全に行う技能と経験があることを普段から指導を受けている教員に認められたもの。申請中の技能証は認めない）。
3. HG でプローンハーネスで初飛びし、高々度フライトを 25 本以上、またはフローターハーネスで初飛びし、プローンハーネスに乗り換えた後、高々度フライトを 5 本以上経験したもの。

※上記において、2.3 の条件を満たしていないが高々度フライトを一度でも経験したことがあるものは朝夕などの大会時間外に、インストラクターの方の誘導でフリーフライトとして飛ぶことができる。この場合もエントリーはすること。

また、無線誘導を受けている練習生はインストラクターの承諾を得て推薦書を提出すること。

参加費：社会人 ￥17000 学生 ￥13000 誘導生（フリーフライト） ￥9000

（ただし、当日エントリーは社会人 ￥19000 学生 ￥15000 誘導生 ￥11000 とする。）

※参加費はいかなる理由があろうと返金を行わないものとする。

応募方法：9月28日(金)までに参加費用を下記の口座に振り込み、学生リーグのホームページからWEBエントリーすること。

PG：http://pg.jsff.org/schedule.php?e_id=116&year=2018&type=detail&mail=1

HG：http://hg.jsff.org/schedule.php?e_id=147&year=2018&type=detail&mail=1

振込先：・郵便口座

名義：日本学生フライヤー連盟関東ハンググライダー支部

記号：10110 番号 46548841

・ほかの金融機関から振り込みされる場合

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番 018

預金種目：普通 店名：〇一八（ゼロイチハチ）店

口座番号：4654884

学連遠征補助金 学連遠征補助金の対象となります。

競技規定

競技内容

- ・シークレットターンポイント
- ・デュレーション
- ・ターゲット

競技成立

参加者の過半数が1フライトすれば成立。

一般

- ・フライヤー自身の足で離着陸しなければならない。
- ・ヘルメット、レスキューパラシュート、無線機は必ず装着する(無線機はスカイレジャー無線機を使用する)。
- ・ラインチェック、プレフライトチェックは各自で行うこと。
- ・ハングチェックは必ず行うこと。
- ・フライト計器は使用可とする。(ただし無線機は受信のみ。緊急時のみ送信可。)
- ・スタ沈した者は、役員ならびに指導者の指示に従い回収をする。
- ・山沈した者は、大会全日程の全競技を失格とする。

- ・山沈した者は、速やかに大会本部に連絡し、安全を確保した上で回収を待つこと。
- ・雲中飛行、飛行禁止空域飛行、空中接触、フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合、そのフライトを失格、或いは競技失格とする場合がある。
- ・期間中、万一事故、障害や損害が生じた場合、エリアルールに基づき、本人の責任において速やかに処理し、役員に報告すること。エリアルールは下記に示す。

エリアルール（(有) ソアリングシステムより引用）

フライトの規制

- ①単独、無断フライトは禁止します。
- ②トップランディングは禁止します。（クロスカントリー証所持者及びスクールの管理下における練習時又は緊急の場合は除く）
- ③エリア内道路でのセットアップ、ブレークダウンは禁止します。
- ④安全なヘルメットを装着してください。
- ⑤メーカー指定どおりにリバックされた緊急パラシュートを装着して下さい。
- ◎以下の気象状況では、フライトを禁止します。
 - ①ハンググライダーは 10m/s（平均風速）、パラグライダーは 6 m/s の風が吹いている場合。
 - ②テイクオフが追い風の場合。
 - ③積乱雲や寒冷前線等の接近が予想される場合。
 - ④雲中飛行が予想される場合。
 - ⑤降雨・降雪がある時、又は予想される場合。
 - ⑥その他、気象状況、フライヤーの技量等により、フライトを禁止する場合があります。

ランディング

民家、果樹園、電線、道路付近へのランディングは絶対に行わないで下さい。農作物等に被害を与えた場合は、本人の責任に於いて速やかに処理を行い、受付に報告し指示に従って下さい。

その他

- ◎その他のフライトルールについては、航空法に基づいて厳守して下さい。
- ◎車両を利用する際には通行に注意して下さい。また、駐車場は所定の場所を利用して下さい。
- ◎フライトエリアをきれいに保つため、利用者は清掃等にご協力下さい。
- ◎事故が生じた場合は事故報告書を必ず提出して下さい。
- ◎テイクオフ、ランディングエリア内は禁煙とします。喫煙は所定の場所をお願いします。
- ◎アウトランディングした際は被害の有無にかかわらず、必ず受付に報告し指示に従って下さい。

◎緊急時はエリア管理者に従って下さい。

○エリア内センタリング方向の指定があります。(偶数日は右旋回、奇数には左旋回)

以下

T.O…TAKE OFF

L.D…LANDING

T.D…TAKE OFF DIRECTOR

T.F…TASK FINISH と明記する。

競技内容

TAKE OFF

- ・ T.O.は十分一山のみ使用可。
- ・ T.D.に合図をされてから 2 分以内にフライトすること。
- ・ 時間内なら何本でもリフライト可。
- ・ スタ沈はその日のフライトを失格とする。(ただしパラの場合は、両足が浮いてからの失敗をスタ沈とする。)

LANDING

- ・ アウトサイドした場合、そのフライトは失格とする。
- ・ 同時進入などでアウトサイドした場合、失格とするか否かは、役員の判断による。
- ・ 同時進入と見なされた場合、ターゲットに乗っても無効とする。
- ・ T.F後は速やかに機体を安全に降ろすこと。その際 L.D.得点も付く。
- ・ L.D.の技術を採点する。点数を以下に示す。
(ただし危険行為により無理に狙ったターゲットは、L.D.スタッフの判断により加点しない場合がある。)

対象	内容	ソアリング禁止	それ以外
共通	アウトラン	原則的に失格	原則的に失格
ハング	ボディーラン ノーズクラッシュ ベースバークラッシュ ロケットフレア等	-50point	-100point
パラ	ケツラン 転倒(シートで滑っても)	-50point	-100point

*これらは複数同時に行っても、減点を 100Point までとする。

* ソアリング禁止は誓約書のソアリング禁止欄にチェックされた者。

HANDICAP

各選手が自分の力量の範囲で力を出し切って最高の飛びをすれば、誰もが上位に食い込めるように、得点に対して HANDICAP を設ける。機体差をターンポイント得点に、技術差をデュレーション得点にかける。

機体差

初級機 : 1.4 倍

中級機 : 1.2 倍

上級機・パラ競技機 : 1.1 倍

ツノ無 : 1.0 倍

技術差

B 級、BP 証 : 1.4 倍

C 級、NP 証、PP 証 : 1.2 倍

P 証、XC 証 : 1.0 倍

特に技術があると認められた者 : 0.8 倍

特に技術があると認められた者 : 0.9 倍

①ターンポイント

・ 5 ケ所のターンポイントそれぞれに難易度に応じた得点を課する。

・ それぞれのターンポイントの位置はあらかじめ指示するが、書かれている記号や文字は公表しない。

・ 選手は上空からターンポイントを確認し、それぞれの記号や文字を L.D.スタッフに報告する。

・ 一日のフライトで同一の得点は重複しない。

・ それぞれのターンポイントの得点を以下に示す。

ターンポイント得点

難易度 S 400point

難易度 A 300point

難易度 B 200point

難易度 C 100point

②デュレーション

- ・総滞空時間を競う。
- ・テイクオフウィンドウオープン中はリフライトの制限は無い。
- ・得点はテイクオフウィンドウオープンから T.F.までの全てのフライト時間を計上して出される。

③ターゲット

- ・ターゲットを踏んだ選手に対して、ボーナスの得点を加算する。
- ・詳しい得点は以下に示す。

	中心	周り
PG ソアリング禁止	600points	300points
PG それ以外	300points	100points
HG ソアリング禁止	1200points	600points
HG それ以外	600points	200points

ターゲット得点

得点計算

(a) デュレーション・ターンポイント・ランディング総得点(L.D.技術減点+ターゲットボーナス)のフライト得点の計算式

$$FP=1000 \times T/T_{\max} \times HCG + TP \times HCK + LP$$

(b) a のフライト得点を 1000 点満点換算に変えるための計算式

$$DP=FP/FP_{\max} \times 1000$$

FP : フライト得点

LP : ランディング総得点

FPmax : 最高フライト得点

TP : ターンポイント得点

HCG : 技能ハンディキャップ

Tmax : その日の最高総フライト時間[sec]

HCK : 機体ハンディキャップ

T : 自分の今日の総フライト時間[sec]

[sec] DP : デイリー得点 (FP を 1000 点満点換算したもの)

*二日間の合計デイリー得点を競う。

また上記の規定は天候により変更することがある。

*一日スタッフにはその日の平均点を加算して、自分のデイリー得点と合計する。